



ランチパック 小平産ブルーベリーのジャム&ホイップ が発売されます

(小平市)

報道各社 御中

山崎製パン株式会社は、山崎製パン武蔵野工場と西武鉄道が共同開発したランチパック「小平産ブルーベリーのジャム&ホイップ」を昨年に引き続き発売します。

小平市は、国内で初めてブルーベリーの商業生産を行った場所と言われています。山崎製パンは、地域らしさを活かした商品開発に力を入れており、武蔵野工場では、長年小平産ブルーベリーの使用を目指し、2021年4月に第1弾を発売し出荷数約50万個と人気を集めました。

【ランチパック小平産ブルーベリーのジャム&ホイップ】

ランチパックはバラエティに富んだ具とふんわりやわらかな食パンのハーモニーが、どなたにも親しまれる人気の食パンです。いつでもどこでも、食事におやつに大活躍の食パンです。

そのランチパックに小平産ブルーベリーのジャムとホイップをサンドしました。

商品名 「ランチパック小平産ブルーベリーのジャム&ホイップ」

- 販売期間 令和4年4月1日（金）～令和4年5月31日（火）発売予定
- 販売場所 「デイリーヤマザキ」、「ヤマザキショップ」をはじめ、関東・甲信越エリアのスーパー等のヤマザキ製品取扱い店



《参考：ブルーベリー栽培発祥の地こだいら》

日本における「ブルーベリーの父」とも呼ばれる東京農工大学の岩垣^{いわがきはやお}駿夫教授が、初めて日本の気候に適したブルーベリーをアメリカから取り寄せました。教授は栽培に情熱をかけ、実家が小平市の農家である教授の教え子にその情熱を託しました。昭和43年（1968年）、日本で初めて小平市にブルーベリーの木が植えられ、農産物としてのブルーベリー栽培が始まりました。

【お問い合わせ】

小平市 地域振興部 産業振興課 観光まちづくり担当

Tel : 042-346-9581 電子メール : sangyoshinko@city.kodaira.lg.jp

